

2020 年 東三河地域問題セミナー

第 2 回 公 開 講 座 の ご 案 内

1. 日 時 2020 年 8 月 27 日 (木) 午後 2 時 00 分～午後 4 時 30 分

2. 場 所 豊橋市民センター (カリオンビル) 6 階 多目的ホール
(住所: 豊橋市松葉町二丁目 63 番地、電話: 0532-56-5141)

3. テーマ 「日々の暮らしと土砂災害への備え
ー 実効性のある防災に向けて ー」

名古屋大学大学院生命農学研究科 准教授 田中 隆文 氏

4. 参 加 費 無料

5. 定 員 30 名 (全て事前予約制・先着順)

本年 7 月、熊本県を中心に九州地方など日本各地で集中豪雨が発生しました。当地域でも本年 6 月 30 日、大雨警戒のため、新城市、設楽町、豊根村では警戒レベル 4 の土砂災害警戒情報が発表され、このうち豊根村と設楽町の全域に避難勧告、新城市の一部地域に避難準備情報が出ました。このように、近年、気候変動により全国各地で水害、土砂災害、渇水被害の頻発・甚大化が懸念されています。

特に平成 30 年 7 月では、西日本を中心に全国的に広い範囲で記録的豪雨が発生し、広域的な浸水被害・土砂災害により死者・行方不明者 119 名等甚大な人的被害がでました。同豪雨では、事前に河川改修をしたため堤防決壊を回避し浸水被害を軽減したり、上流のダムが下流へ流れる流量を低減し避難時間を確保したり、砂防堰堤が土石流・流木を捕捉し下流地域を保全したなど、事前防災対策の有効性が報告されていますが、ハード整備だけでなく地域の特性を踏まえた様々な治水対策が必要ではないかと考えます。

そこで、今回のセミナーでは、森林水文・砂防学がご専門の名古屋大学大学院 田中先生に、これまでの水害・土砂災害を踏まえた地域社会と災害脆弱性の事例と、そうした災害対策として河川の整備だけでなく流域の持つ保水・機能の確保からみた森林等様々な地域特性を活かした水循環の動態の重要性、さらに豊川流域を中心とする東三河地域での豪雨等に対する総合的な水害・土砂災害対策への知見等をご示唆頂きます。是非、皆様、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

◆出欠のご連絡を 8 月 24 日 (月) までに FAX もしくは E-mail にてお送り下さい。

◆当日の受付時に、着席する座席を自ら指定して頂きます。

◆特に高熱や咳など、風邪のような症状がある場合には、来場を控えて頂きますようお願いいたします。

◆来場時には、マスクの着用・手洗い及びに会場設置の消毒用アルコールの利用をお願いいたします。

公益社団法人 東三河地域研究センター 行 FAX: 0532-57-3780 E-mail: webmaster@hrrc.jp

東三河地域問題セミナー (2020 年 第 2 回公開講座) 出欠票

ご出席

ご欠席

お問合せ(公社)東三河地域研究センター 住所 愛知県豊橋市駅前大通三丁目 53 番地 TEL 0532-21-6647

団体名・会社名		
ご所属・お役職名		
お名前		
連絡先	TEL FAX E-Mail	TEL FAX E-Mail

